



令和6年11月29日

新宿区立江戸川小学校

学校だより No. 707

開校記念日に寄せて

副校長 田部 崇

12月1日は119周年の開校記念日です。来年度は開校120周年という区切りの年となります。そこで、開校100周年記念誌「江戸川」をもとに、江戸川小の歴史を少し振り返ってみたいと思います。

江戸川小学校は明治38年に東京市江戸川尋常小学校として開校しました。この年は、牛込馬場下横町で生まれた夏目漱石が「吾輩は猫である」を発表した年です。また、日露戦争が終結した年でもあります。学校の北部を流れる神田川は、当時桜の名所「江戸川」と呼ばれ、その清い流れの名をとって江戸川小学校として開校したそうです。校章もこの桜の花の中に江戸川の「江」の文字を図案化したといわれています。また、現在の校歌は明治39年に作られ、現在に至っています。時代の変遷とともに学校の名称も4回ほど変わりました。現在の「新宿区立江戸川小学校」という名称になったのは昭和23年です。校舎は2回建て替えられました。糸操工場を改造した木造2階建ての校舎は、大正6年にコの字型の木造2階建て校舎となりました。当時の学校としては、とても立派でモデルスクールとなり、各地から参観者が来ていたそうです。現在の鉄筋コンクリート4階建ての校舎は昭和11年に完成しました。この校舎は、昭和20年の空襲で西面廊下が焼失しましたが、当時の校長先生や、地域の警防団、住民の方々の必死なバケツリレーでの消火活動により、全焼を防いだそうです。戦後には、児童数の減少等から廃校という事態になりかけた時もありましたが、この時も地元の方々の働きかけにより、江戸川小の存続が決まりました。

文献を紐解いてみると、江戸川小学校の歴史の重みを感じ、多くの方のご尽力のおかげで現在の江戸川小学校があることを改めて実感します。開校から119年という長い年月が経ちましたが、江戸川小は開校当時と変わらず、保護者・地域の方々に愛され、温かい支援をいただきながら今も教育活動を続けています。本日（11月29日）開校記念日集会を開き、江戸川小が前述したように数々の歴史を積み重ね、現在の学校があるという意識を高めていきます。ご家庭でも話題にいただけると幸いです。来年度は120周年を迎えます。地域・保護者の皆様をはじめ、本校に関わる皆様へ感謝申し上げるとともに、子どもたちにも歴史の一步を築かせていきたいと思います。

さて、学校生活は12月に入ります。年度初めや学期初めに立てた目標がどの程度まで達成できたかを振り返りながら、自分自身の課題を確かめ、来年度の学校生活につなげていく期間となります。また、学校としても、教育活動を振り返り、来年度の学校運営の改善につなげるため、教育目標や様々な取り組みについて、保護者の皆様にアンケートをとらせていただきます。12月9日に「学校評価アンケート」として「すぐー」で配信します。この「学校評価アンケート」が、来年度の学校運営や、子どもたちの健やかな成長、そして、地域・保護者の皆様と共に歩む学校づくりに活用していくことができますよう、全力を尽くしたいと考えております。ご協力をお願い致します。

年末に向けて、寒さは増々厳しくなっていきます。様々な感染症も流行する時期です。学校全体で感染予防と体調管理に努めてまいります、ご家庭でもご協力を引き続きよろしくお願い致します。

校長談話室

12月13日(金)、18日(水)10:00~15:00

お一人でもお誘い合わせでもお気軽にご来校ください。3266-1602 副校長まで

12月 生活目標

ものを大切にしよう

12月 給食目標

好き嫌いをしないで食べよう

12月の行事予定

下校時刻 4校時給食なし 12:30 4校時給食あり 13:15

特別時程 4校時給食なし 12:20 4校時給食あり 13:05 5校時 14:05

※なかよし班寺程の日の下校時刻は、その曜日の下校時刻と同じです。

[illegible]